

豊かにかかわり 高め合う 鳩森の子

～シブヤ未来科の実践を通して～

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和5年6月7日（水）5校時

渋谷区立鳩森小学校 6年1組

授業者 高橋 晶子

1 単元名 渋谷の未来を考え、提案しよう～未来のHACHIプロ

2 単元の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、渋谷の未来について考え、「鳩森まちづくりマスタープラン」を作る活動を通して、自ら立てた課題に対して、区民の方、区役所の方の願いを大切にしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 探究的な学習の過程において、「渋谷らしさ」について、区民の方や区役所の方の願いや取り組みを基に考えるとともに、渋谷区の課題を認識し、渋谷区に関わる人々が目指すまちづくりを理解し、まちづくりマスタープランを工夫して作る中で、探究的な学習のよさに気付く。
- (2) 自分の生活や自分たちの町の渋谷から、未来の渋谷を見据え、「鳩森まちづくりマスタープラン」を作ろうという問いを見だし、価値ある課題を自分で立てて、手段を選択して情報を集め、各教科等で学習したことを活用しながら整理・分析して、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自他の願いや思いを尊重しながら渋谷に誇りをもち、積極的に渋谷のまちづくりに関わろうとする態度を養う。

3 本単元で育成を目指す資質・能力（評価規準）

目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力（評価基準）		
	①知識及び技能	②思考力・判断力・表現力	③学びに向かう力・人間性
地域や学校の特色に応じた課題	【知識】 よりよい町づくりは、そこで暮らす人々の願いを基に実現に向けて多くの人が携わっていることが分かる。	【課題の設定】 自分たちを取り巻く地域社会に広く目を向けて課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てることができる。	【主体性・協働性】 自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働して進んで取り組もうとする。
未来の渋谷をよりよいまちにするための取組（町づくり）	【技能】 渋谷区の課題を見出し、「鳩森まちづくりマスタープラン」を作り、コンテストで発表することができる。	【情報の収集】 多様な方法で自分の目的や意図に即した情報を収集し、種類に合わせて紙面やICTで蓄積することができる。	【自己理解・他者理解】 探究活動を通して、自分自身を理解し、他者の考え等を受け入れ尊重しながら学び合おうとする。

	【探究的な学習のよさ】 渋谷区を大切にしたいという自分たちの思いの変容は、渋谷区らしさや人々の思いについて探究的に学んだことによる成果であると気付く。	る。 【整理・分析】 適切な思考ツール等を選んで情報を整理し、情報と情報がどのような関係にあるか、見出すことができる。 【まとめ・表現】 他教科等で培った表現力等を活用したり、学習の仕方を振り返り他の学習や生活に生かしたりすることができる。	【将来展望・社会参画】 地域との関わりの中で、地域にとって必要なことと自分にできることを検討し、実践に移そうとする。
--	---	---	--

4 単元設定の理由

(1) 児童の実態

児童は、渋谷区で生まれ育ち、渋谷区に愛着をもっている。第五学年の総合的な学習の時間で行った「渋谷の魅力を発信しよう」の学習では、渋谷区の魅力について、「映画やアニメの舞台になっている」「新宿御苑のような美しい公園がある」「若者文化の発信地」「美味しいものが食べられる」等、様々な視点から探究していった。児童は、日本の中でも中心となる大都会である渋谷区について誇りをもち、自分たちが暮らす地域だけでなく、渋谷区全体にも目を向け、その魅力を捉えることができた。一方、アンケート結果から、自分たちの手で社会を変えられるという意識をもっと高めていく必要があることが分かった。誇りをもち渋谷区の未来を考え、自分たちにもできることがあるという実感をもってほしいという願いを込めて、本単元を設定した。

(2) 教材について

渋谷区では「渋谷区まちづくりマスタープラン」を策定している。序章から始まり、第7章までからなる「渋谷区まちづくりマスタープラン」を見ると、住民の願いや渋谷区のあゆみ、社会の動きなどを基に作られていることが分かる。また、8つの分野に分類したり、渋谷区を5つのエリアに区分したりして、方針を立てている。この「渋谷区まちづくりマスタープラン」から学び、自分たちの暮らす渋谷区を自分たちの手で創っていくために何が必要か、何ができるか、探究させたい。

5 主題に迫るための手立て

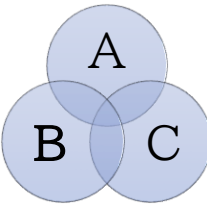
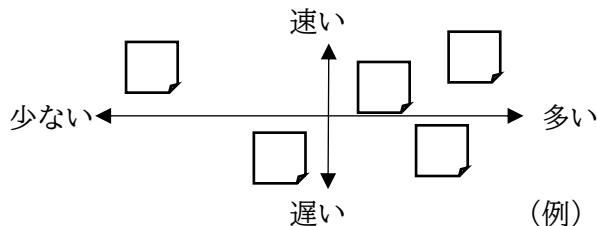
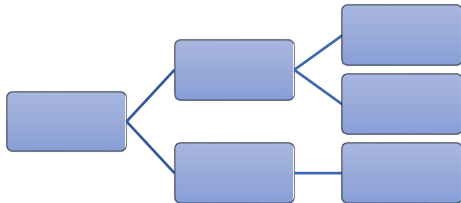
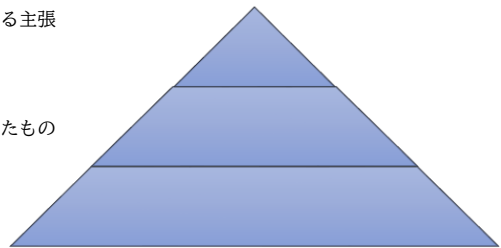
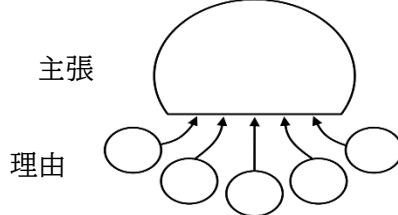
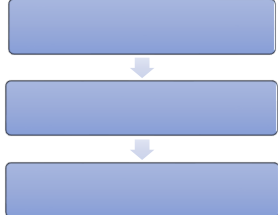
(1) 探究課題の設定

本校では第1学年から系統的に地域教材として新宿御苑を活用している。季節の自然、地域のお年寄りを元気にする活動、バリアフリー、渋谷の魅力と様々なテーマの学習を新宿御苑を活用して、行っている。第6学年では、それらの学びを生かしながら、未来の渋谷に目を向けられるよう探究課題を設定した。

(2) 指導方法の工夫

集めた情報や自分の考えを分類・整理したり、話し合ったことをまとめたりする時に、思考ツールを効果的に活用できるようにする。そのために、思考ツールには様々な種類があること、どのよ

うな時にどのような思考ツールが使えるか等を事前に指導しておく。本時では第1時ということを考慮し、こちらから、ベン図を使うことを提案し、活用させる。

ベン図【共通点や相違点を明らかにする。】 	座標軸【それぞれの関係を可視化】 
ロジックツリー【構造化】 問題点 理由 原因 	ピラミッドチャート【焦点化】 中段から言える主張 重要な情報・ 下段をまとめたもの 収集した情報 
クラゲチャート【主張と根拠】 主張 理由 	ステップチャート【順序づける】 

(3) 各教科との関連

国語科「私たちにできること」では提案文を書く。第三次での提案はこちらの単位と合わせて学習を進める。

社会科「震災復興の願いを実現する政治」では、人々の願いを行政が叶える政治のしくみを学ぶ。この学習とつなげられるようにする。

算数科では、既習事項を基に解決する力を、理科では事実から考察する力を育むよう指導しているので、本単元でも生かせるようにする。

6 指導計画（55時間）

	探究的な学習の過程	指導のポイント
プロローグ ①	総合オリエンテーション	- 思考ツールの活用方法を理解させる。 - 総合的な学習の時間の学び方を指導する。
第一次	【課題の設定】「渋谷らしさ」とは何か考えを出し合い、行政の取り組みや住民の思いについて関心をもつ。	第5学年「渋谷の魅力を発信しよう」での学びを生かす。

渋谷らしさとは (15)	【情報の収集】区の基本構想やまちづくりマスタープランについて調べたり、千駄ヶ谷駅前での聞き取り調査を行ったりする。	・生の声を聞くことで、社会と自分たちとのつながりを実感させる。
	【整理・分析】集めた情報から、渋谷区の課題について考える。	・思考ツールの活用。
	【まとめ・表現】渋谷区の課題をまとめて、区役所の方に聞いてもらう。	・ゲストティーチャーの話から、次の課題につなげられるようにする。
第二次 渋谷のあゆみ (15)	【課題の設定】これまでの渋谷のまちの移り変わりについて関心をもつ。	・課題意識をもたせ、一人一人の問いにつなげる。
	【情報の収集】区役所の方に取材をする。	・生の声を聞くことで、社会と自分たちとのつながりを実感させる。
	【整理・分析】これまでの渋谷の歩みと第1次の課題を整理し、よりよいまちづくりについて考える。	・思考ツールの活用。
	【まとめ・表現】未来の渋谷がよりよいまちへとなっているためにどのようなことが必要か考え、まとめたことを渋谷区の駅前開発に携わった企業の方に聞いてもらう。	・ゲストティーチャーの話から、次の課題につなげられるようにする。
第三次 まちづくりマスタープランコンテスト (25)	【課題の設定】第2次でゲストティーチャーにいただいたアドバイスをもとに、「鳩森小6年1組まちづくりマスタープランコンテスト」を開催することについて意欲をもつ。	・コンテスト形式とし、意欲を高める。
	【情報の収集】グループごとに、自分たちが考える「まちづくりマスタープラン」を、これまでの情報を基にデザインする。	・グループで協働的に取り組めるようにする。
	【整理・分析】「まちづくりマスタープランコンテスト」を行う。	・互いのグループのよさを見つけられるようにする。
	【まとめ・表現】コンテスト優勝グループが区役所の方へ提言として提出する。	・自分たちの思いや考えが、社会とつながることを実感できるようにする。

7 本時（1/55）課題の設定

（1）ねらい

「渋谷らしさ」とは何か考えを出し合い、行政の取り組みや住民の思いについて関心をもつことができる。

(2) 学習指導過程

	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	・ 留意点 ○評価
導入	○第5学年「渋谷の魅力を発信しよう」の学習を想起し、本単元のテーマを知る。 ・世界中から人が集まる観光都市。 ・映画やドラマの舞台になっている。 ・公園があって意外と緑も豊か。 「10年後、みなさんはこの街で暮らしていますか。どんな街であってほしいですか。6年生では、渋谷の未来を考える学習をしましょう。」	・第5学年の時のプレゼンテーションソフトを提示する。
展開	○観光地としての渋谷と人々が生活するまちとしての渋谷という視点から、「渋谷らしさ」について考える。 「資料から気付いたことを話し合いましょう。」 ・海外からの観光客も多い。 ・子育てをしている人もいる。 ・観光だけでなく、働く場所としても人気なんだ。 「渋谷は観光地としてだけでなく、働く人、暮らす人の生活の場でもあるのですね。その視点を踏まえて、『渋谷らしさ』とは何か、話し合いましょう。」 ・日本の最先端であるということ。 ・どんな人にとっても居心地のよい場所。	・2枚の写真と3つのグラフを提示し、観光地としての渋谷以外の視点に気付かせる。 ①観光客の写真 ②子育てをしている風景 ③23区スタートアップ企業の割合 ④昼夜間人口比率 ⑤渋谷区人口推移 ・グループにすることで、気付いたことを一人一人が話せるようにする。 ・思考ツール「ベン図」を使って、「渋谷らしさ」とはどのようなものか、まとめられるようにする。
終末	○次時の見通しをもつ。 「みなさんの考える『渋谷らしさ』が見えてきました。この渋谷のまちを創っているのは誰ですか。」 ・住民。 ・働く人。 ・区役所の人々。 「渋谷のまちを創っている人々の思いを知るところから、始めていきましょう。」	○「渋谷らしさ」について考えることを通して、行政の取り組みや住民の思いについて関心をもっている。